

学校 教育 目標	「まち」とともに歩み、ともに学び自立できる子どもをめざします				
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自ら課題を見つけ、多様な解決をしていく子 (知) ○ 個性を伸ばし、互いのよさを認め合うことができる子 (徳) ○ 自他の健康や安全に留意できる子 (体) ○ 「まち」を愛する子 (公) ○ 地域、日本、世界に目を向ける子 (開) 				
学校 概要	創立 57 周年	学校長 丹波 悟亮	副校長 宇谷 あや	2 学期制	一般学級: 26 個別支援学級: 3
児童生徒数: 878 人	主な関係校: 樽町中学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<p><言語能力>他者と考えや思いを共有する力</p> <p><問題発見・解決能力>自分の考えを明確にし、わかりやすく伝える力</p> <p><持続可能な社会の創造に貢献する力>豊かな人間関係を形成する力</p>	樽町中学校 師岡小学校 綱島東小学校 綱島小学校	<p>○ 共に学び合い、自他を大切にし認め合う子ども</p> <p>・バランスのとれたコミュニケーション能力の育成をめざした授業の推進と実践。</p> <p>・だれもがわかる、参加できる授業作りの推進。</p> <p>・児童生徒指導や特別支援教育の情報交換を実施。</p> <p>・ブロック教務主任会で、授業・行事・児童会生徒会活動、部活動の交流の設定。</p>

中期 取組 目標	<p>○ 「生きる力」を育むために、人権教育を基盤として「誰もが」「安心して」「豊かに」生活できる学校づくりを進める中で、自分を大切にするとともに、周りの人と協調し、他を思いやる心を大切に教育活動を行います。児童理解に基づいた対応を、全教職員の連携のもとに進めていきます。</p> <p>○ 学力の定着に向け、授業力の向上に努めます。</p> <p>○ 保護者・地域と連携・協働して、学習環境の整備を推進します。</p> <p>○ 教職員自身が自己の能力開発やキャリア形成に意欲を持てるようにすることを通して、教職員のキャリアアップを図ります。</p>
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きて はたらく知	重点研究テーマ「かかわり合いを通して、主体的に学習に向かう子の育成」に向け、研究を深め、授業力の向上に努める。同時に、全ての児童が「授業に参加している」という実感をもつことができる授業づくりを目指し、児童理解に根差した授業を実現できるよう、学年研及び研修を活用する。
担当 重点研推進・評価	
豊かな心	思いやりの心と生きる力を育むため、「気持ちの良いあいさつ」「目標を決めてチャレンジする心」「互いに認め合える心」を柱に、あいさつ運動、道徳の授業や体験的な活動の充実と、日常の声掛けや授業での関わりを工夫し、「互いに認め合える心」「チャレンジする心」の育成に努める。
担当 心の教育推進・児童指導	
健やかな体	栄養士を中心に具体的な指導を取り入れながら食育を推進する。学校保健委員会を中心として、児童が自分事として考えながら取り組める活動を展開する。学級遊び、短縄・長縄週間等、こよみに応じた体力づくりの取組を進めることで、体力の向上を図る。
担当 体育部 保健部	
児童・生徒指導	「あいさつをする」「時間を守る」「人や物を大切にする」を意識させ、たてわり活動を充実し、認め合い高め合う集団作りを進める。見通しのもてる授業・活動等の実践を通して時間を意識して行動できるようにする。常にチームで課題解決にあたり、必要に応じて関係機関との連携を図る。
担当 心の教育推進・児童指導	
特別支援教育	支援を必要とする児童に対する指導方法の工夫・改善をし、どの子にも分かりやすく、楽しいと感じられる授業をめざし、全職員で取り組む。そのために、様々な特性についての理解のための研修を行い、指導・支援の基本を学び、日々の教育活動に生かせるようにする。
担当 特別支援教育	
保護者・地域連携	情報の発信に努めるとともに、地域コーディネーターを中心とする「大曾根小応援団」の活動が効果的に進むよう、コーディネーターと教職員が情報を共有し活用できるようにする。地域の材や技を有する人材から学び、「まち」を愛する子を育てるようにする。
担当 地域連携推進・防災安全	
教育環境整備	校内環境を整備し、子どもの豊かな学びを支援できるようにするとともに、職員間の連携、情報の共有を的確なものとする。校内の環境や動線について教職員が常に意識し、実態を共有し、より効果的に教育活動を進めるために必要な環境について学び合う時間を設定し、実践につなげる。
担当 教務部	
未来を開く志	ESD/SDGsについての知識を深め、持続可能な社会の実現に向けて、身近な問題を児童自身が自分事として捉え、何ができるのかの具体を明確にする。
担当 心の教育推進・児童指導	
いじめへの対応	自尊感情を育むための指導を教職員が共有し実践し、YPアセスメント、横浜プログラムを活用した授業研究を進める。日常的に定期的な調査の実施により、常に状況把握に努める。事案発生時は管理職を含むチームで、関係機関と連携を図りながら、課題解決に向けての対応に努める。
担当 心の教育推進・児童指導	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	組織毎に担当業務を精選し、主任を中心に業務の分担を明確に行う。常に主任が進捗管理並びに相談・支援を行い、担当部署の業務が的確に進められるようにする。グループウェアを活用し、情報管理のシステム化を進める。同時に、メンター、ミドル、主幹クラスのそれぞれがキャリアアップに努められるよう、研修を工夫する。
担当 教務部	